

介護テクノロジー定着支援事業 業務改善計画 に係る質問・回答一覧

(公財)介護労働安定センター秋田支部

R8.7.14受付(7.24最終回答分)			●質問番号1～448番までの全質問に対する回答。但し、県への質問事項に関する回答は、7月24日県補助金申請締切後となるため、「2. 導入する機器等・6. 文書量半減・7. ケアプランデータ連携利用・9. LIFEの利用、11. その他の一部」については省略し、今後、各介護施設での業務改善に資する回答内容に特化することとして、今回HPに掲載いたしますのでご了承願います。		※個別事案については「個別相談」として、①当センターで支援・相談する分と②専門コンサル(那須氏)による計画作成・対応方法等をオンライン(1回2時間以内)での相談分の2つの方法により、後日対応いたします。		
通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件	
1	1	1.事業所の課題	常勤スタッフの業務負担の軽減、ヘルパー不足、高齢化など		・諸課題解決に向け、生産性向上・業務改善を実施、介護テクノロジーの導入等により、職員不足による一人当りの業務軽減、職員の身体負担の軽減を目指して欲しい。 ・選定機種等の詳細については、「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。 ・なお、②施設系「ガイドライン」には、介護ソフト、インカム、タブレット、見守りソフト等の導入に関する事例が多々掲載されているため、その内容も参考としていただきたい。 ・また、WIFI環境については、「県の補助金のご案内」に介護ソフトの定着促進支援として、介護ソフトの導入に伴い、一体的に使用するためのタブレット、WIFI環境の整備が認められているため、既存の介護ソフトをそのまま利用する場合は該当しないため留意のこと。		
	2		人員不足による介護員不足				
	67		記録物の作業をICTを活用し簡略化させ、全体の業務量を減らしたい。				
	69		問題点の明確化と不十分で導入機器の選定まですすめていない				
	84		築30年経過による建物・設備の劣化対策と物価高騰・人件費増加による今後の業績				
	89		残業にならないための効率化推進				
	104		介護員の負担軽減及び利用者の安全性や利便性の向上				
	122		生産性向上委員会による見える化を明確にする(数値化)				
	123		訪問介護事業における介護記録ソフトの導入と実績への反映とヘルパーシフト管理の効率化				
	126		夜勤2名体制のうち、1名が介助や休憩で離れた際、実質1名でのフロア対応となり、見守りの目が手薄になる時間帯がある。離床時など、アラートが担当スタッフの元へ確実・迅速に届く環境が整っておらず、夜間帯スタッフの精神的なプレッシャーが大きい。				
	134		日々の記録や書類作成が業務時間内にできず、すべて残業対応になっている。業務内容の改善や記録の整理も行ってきたが、いまだに手書きの記録や書類の煩雑さが残っているため、きちんと業務改善していきたい。				
	136		テクノロジー導入により介護業務(記録入力作業)の負担の軽減を目的と考えております。				
	211		夜間巡視が多く職員負担が大きい。転倒リスクの高い利用者の見守りに時間を要し、夜勤者1名体制での安全確保に課題がある。				
	215		職員がこれから減少していく現状でいかに運用をしていけるか、その為に介護テクノロジーを以下に利用するか				
	235		ペーパーレス化				
	255		介護記録とソフトの連携がされていないため月末の請求処理やケアマネージャーへの実績の提出が大変な業務となっている。また職員が高齢化が進んでいるため利用者、職員の安全確保が課題となっている。				
	256						
	257		職員が高齢化が進んでいるため利用者、職員の安全確保が課題となっている。移乗の負担が大きい				
	261		記録が手入力となっている。記録が大変な中実績はソフトの導入があれば業務負担の軽減となる。それに係る機器も金銭的な負担が大きい。				
	284		業務の効率化と経済的負担				
	315		お客様の生活支援業務が職員業務負担となっており、導入を見込んでいる。				
	320		人員不足による介護員の負担軽減				
	331		書類作成に時間がかかっている為、時間短縮するための物があれば教えていただきたいです。				
	335		最近の物価高騰に加えて、各種効率化を図り事業効率を全体に繋げるには、と考えています				
	336		平成26年頃のショートステイ設立許可が乱立状態を招き多くの事業所が苦戦している状況であり、手前共も似たような状況で有料ホームとの抱き合せも可能なものでしょうか。				
	354		請求領収書の枚数が多く、作成に時間を要する。また、郵送に係る経費も増加傾向にある。				

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
1	385		介護事業の効率化を図ることがなかなかできず、職員の負担が大きくなっている。		・諸課題解決に向け、生産性向上・業務改善を実施、介護テクノロジーの導入等により、職員不足による一人当りの業務軽減、職員の身体負担の軽減を目指して欲しい。 ・選定機種等の詳細については、「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。 ・なお、②施設系「ガイドライン」には、介護ソフト、インカム、タブレット、見守りソフト等の導入に関する事例が多々掲載されているため、その内容も参考としていただきたい。 ・また、WIFI環境については、「県の補助金のご案内」に介護ソフトの定着促進支援として、介護ソフトの導入に伴い、一体的に使用するためのタブレット、WIFI環境の整備が認められているため、既存の介護ソフトをそのまま利用する場合は該当しないため留意のこと。	
	415		介護テクノロジーの導入で事業所の課題を解決したい			
	417		施設内のWi-Fi接続状況が悪く、場所によってつながらない事がありうまく活用できていない面があります。これから導入する機器ではなく、すでに導入している機器に関して環境を整えるために補助金を活用しても良いですか？			
	418		情報共有の様々な手法について			
	426		当事業所は短時間型のデイサービスを運営しており、職員の勤務形態が様々です。その中で現場の情報共有をいかに効率よくしていくかが課題として挙げられております。インカム等を用いて施設内や送迎の間でもタイムリーに職員同士が繋がれ、情報共有が出来ればと考えておりますが、インカム以外にも何か有用なテクノロジーがあればご教示願いたいと思います。			
	429		限られた人数で生産性を上げるにはどのように対応するべきかご教示いただきたい。			
	446		書類の電子化でペーパーレスに			
2	63	1.事業所の課題	職員アンケート、面接を行いながら業務改善を行っているが、質問に対して形式的な返答が多いように感じられる。業務アンケート作成、形式についていい方法があれば教えてほしい。		・各事業所の個別事案については、個別相談事案として専門コンサルへお繋ぎいたします。	○
	64		日々の看護・介護記録は紙ベース。ケアプラン、栄養ケア、リハの計画書はワイズマンを使用。情報が「紙」「口頭」「ワイズマン」に分散しており、過去記録の検索に時間を要する現状で看護・介護・栄養・リハ・相談の情報を一元化するためにはどうすればいいのか教えて頂きたいです。			○
	396		記録の記載漏れや記載する文章が増えていて時間がかかってしまい就業時間内に終われない事がある。			○
	397		日々の介護記録の作成について記録内容が多く業務の負担となっている。改善のための導入機材について			○
	410		記録業務に時間を要しており、利用者対応の時間が十分に確保出来ていない。サービスの質を維持する為、介護ソフトやICT機器を利用した効率的な記録方法について知りたい。			○
	72		現場内の職員間の情報共有がスムーズに行かない。インカムの使用により、スムーズになるのか。			○
	248		通所介護事業において、利用者の減少により厳しい運営を強いられておりますが、社会福祉法人として簡単に事業を止めたくはないという思いで運営しています。事業所の強み、魅力を発信していくのは事業所自体の課題だとは思いますが、今更ながら事業の問題点で見落としている部分、当事業所の魅力などを洗い出していくために、どのように新しい視点を持ったらいのかをご教示いただきたいです。			○
	259		福祉用具のタイスコードの入力が手入力となっているので連携ができるようなソフトが欲しい。介護記録ソフトが簡素化できる方法がなく、突撃の入力が大変になっている。			○
	262		記録業務が煩雑で一部職員に負担が集中してしまっている為、どのように改善したらいいでしょうか。			○
	271		事業所内での情報共有が上手く行かず、複数の改善策があれば当施設にあった改善策を実施したいと思いますが、どのような方法があるか知りたい。また、記録の入力に個人差があり、全職員が正確な記録を入力できる方法などが知りたいです。			○
	222		マッスルスーツの脱着に手間がかかることで、使用者は一部の職員に限られ、全体としての使用率が上がっていない。マッスルスーツの使用に関して良い事例があれば教えていただきたい。また、機器やシステム導入によって大幅に業務改善が図られた事例を教えてください。		・マッスルスーツの好事例については、②施設系ガイドラインに例があるためその内容を参考としてください。	
	88		介護記録導入を考え見積もりをいただいたが高額な金額でおどろいている。導入後の数年後には更新でかなりの金額がかかる。それを考えると不安が大きい。(経営状態) ICTは必ず導入しなければならないのでしょうか。生産性向上とはいったい…とモヤモヤしております。		・下記通番3を参照のこと。	

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
3	278	1.事業所の課題	転倒リスクの高いが増えてきており、付き添い等のケアが多くなってきた。介護報酬が下げ止まりの中、人員を増やすことができない。また増やしたいが労働人口の減少もあり介護人材のなり手も減っているため人員増を見込むのが厳しくなっている。そのためスタッフの負担も増えてきている。そこで見守りロボットや介護ロボットの導入を検討している。		・事業所の生産性向上は、介護ロボット・ICTの導入ありきではなく、まず、施設内の課題把握とその原因、対応方針について、各職員の情報共有・意思疎通を行うことから始まり、その実行により業務改善・業務簡素化を成し遂げることが出来る。その後で更に業務負担の軽減、業務効率化のために介護テクノロジーを導入することとなることを念頭に取り組んでいただけたらと思います。	
	337		テクノロジー導入が事業所の課題解決につながらない			
	351		職員の負担軽減の為の取り組みを検討、実行しているが、サービスの質の向上につながっていないように感じられる。具体的な取り組みや結果が知りたい。			
	439		利用者へのケアで十分な時間が確保できない。			
	448		業務改善内容について			
4	94		職員の年齢層が高く、PC操作ができなかったりタブレットやスマートフォンの操作にも苦戦しているような方がいるが、そういった方でも操作できるのか。		・事業所のプロジェクトチームには、出来るだけIT関係に精通した方をメンバーにすること。ICT等が不得手の方に対しては、簡単な手法から説明し、高度な内容については、精通したメンバーによる説明・実技とこのプロジェクトの存在意義を理解させることが重要です。	
	150		パソコンを苦手とする職員が多く、未だに介護記録ソフトを導入できていない。今後、職員に対しどのようにアプローチしていったらよいかわむ。			
	216		テクノロジー化を進めるにあたり、職員個人の考え方や能力により進まない一面がある。			
	246		多くの職員がオンライン研修等へ参加し、手法や理解をしたうえで計画通り実行し、継続できる環境であってほしいと思うが、うまくまとまらないことが大きな問題である。			
	288		機器を使用する方の習熟度の違いがある。			
	416		いろいろなものが導入されてはいるが、機器の操作にまだ慣れていない部分もあり最大限に機器を利用出来ているのか、また、機器同士の連携が出来ればもっと改善出来る部分が増えて来るのではないかと思うところがある。 スタッフの年齢層が高く、操作を覚えるのが大変で、逆に時間がかかってしまっている部分もある			
6	4	2. 導入する機器等	見守り機器導入による効果と将来性について		・広範囲の回答となるため、後日、個別にご相談願います。	○
	197		介護職員の業務負担軽減に繋がる機器の導入の検討			○
	214		生産性に伴う機器等の情報を得たい			○
	240		どのような機器を導入、試してみたほうがいいのか分からない			○
	245		当施設に最適な介護テクノロジー機器が分からないので知りたい			○
	301		見守りカメラやセンサー等複数の機器を導入する際の計画の作成について			○
27	11	3.参考にした資料等	介護現場における活用されるテクノロジーの一覧にはどんな資料がありますか？導入施設での活用事例や感想など集約した資料などはありますか？		・「補助金交付要綱」の第4条(4)オ①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」をURLから参照し参考としてください。 ・また、審査期間は事業計画提出締切後、2カ月程度と事業スケジュールに記載しております。	
	230		対象の商品などの決まりはあるか？			
	232		事業計画は提出してどのくらいで審査結果が出ますか？			
	291		他、事業所や取り組みを参考にしたいです。			
28	103		委員会運営に関して、導入前・導入後のどのような定量データをまとめると機器の導入効果が得られるか良い事例があればご教授いただきたい		・各事業所の個別事案については、個別相談事案として専門コンサルへお繋ぎいたします。	○
29	12	4.研修等への参加状況	職員不足のため、なかなか研修に時間を割けない状況です。他事業所では、どのように研修の時間を作っているのか知りたいです。		・②施設系「ガイドライン」の「6. OJTの仕組みづくり」の好事例では、「5分間ミーティング」による成功例もある。核となるリーダーの育成も重要であり、全体の意思統一・共有化を図るための研修とその計画の作成についても重要です。	○
	254		市内においてどの程度の事業所が取り組んでいるか。また取り組みの内容について。			
	319		研修参加者に隔りはないか。非常勤職員や新人職員の研修機会を確保できているか。			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
30	13	4. 研修等への参加状況	研修等への参加は圏域などで行った生産性向上の研修でもいいのか。また、前年度や今年度参加など制限はあるのか。		・原則、「業務改善計画様式」の③研修等の参加状況には、本日の当サポートセンター主催の「第1回生産性向上セミナー」参加により条件をクリアするため、そのまま記入されたい。 ・なお、当該セミナーは毎年、開催されることから、参加した毎年最新の受講したセミナー名を記入することとなります。	
	30		テクノロジー導入後の適切な運用と使用する現場の職員への指導方法について			
	199		対象となる研修の範囲は？どのように探すのか？			
	297		業務改善計画に記載されている、厚生労働省又は日本介護福祉士会主催の研修の他にどのような研修があるのか。または該当するのか。			
31	57		研修内容や機器の種類		・研修については、本日の研修の受講で要件を満たします。なお、施設内での研修は個別でご相談いたします。なお、機種等の詳細については、「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。	
	109		今まで受講したセミナーは介護労働安定センター主催のセミナーのみしかありませんが大丈夫でしょうか。またそれを計画書に記入する必要はありますか。			
	118		介護労働安定センターのセミナーしか受講したことがありません。その他の欄へその旨記入した方がよろしいでしょうか			
	405		6.24開催の県主催の業務改善に関するセミナーは該当するのか。			
32	119		OJTの仕組みづくりや業務の明確化・役割分担について具体的にどのような方法があり、円滑に進めるのはどのようにしたら良いか。		・各事業所の個別事案については、個別相談事案として専門コンサルへお繋ぎいたします。	○
33	14	5. 機器等の導入と併せて実施する取組	生産性向上の取り組みの一つとして機器の導入を考えている。委員会の開催、機器の試用貸出を行っているが、他に必要な取り組みについて教えて頂きたい。		・処遇改善加算に係る「生産性向上推進体制加算」を含めた内容と思われるが、3カ月に1回の委員会の開催、業務改善方法としては③全体版「生産性向上ガイドブック」に記載されたまた、導入後の調査・分析による実績報告(超勤・休暇等)が必要となります。	
	15		介護テクノロジー導入と併せて実施する業務改善計画について、優先順位の付け方や効果的な進め方を教えてください。			
	17		生産性向上委員会の設置のほかに取り組む内容			
	19		導入と併せて行う取り組みにはどのようなものがあるか			
	317		2.導入する機器等 事業所の課題から、記録業務の改善(インカム導入による負担軽減)、見守り機器の導入ができればというところ。導入するのであれば、生産性向上推進体制加算Ⅰの算定を検討したうえで導入・整備した方がいいと思うが。こういった視点で進めていくべきか。			
	192		機器を導入後、生産性向上委員会を活用し様々な検討を行う予定ですが、併せて実施する取り組みに該当するのでしょうか？			
	227		機器の購入だけでなく、なにをすべきか教えてもらいたい			
	327, 328		委員会や研修を定期的に開催しているが、全職員が同じように機器を使いこなすことが困難な部分がある。			
	358		介護ワトの導入を考えていますが導入に向けての取組があれば教えてください			
	423		介護機器の導入後の委員会の開催等について			
34	16		業務の効率化のための機器の効果的な活用法と複数の機器の組み合わせ方		・サービス形態により分かれており、広範囲の回答となるため、後日、個別事案とする。なお、④「介護ロボット等のパッケージ導入モデル(改訂版)令和7年度3月厚生労働省」の冊子に多くの複数導入例が掲載されており参考となります。	○
	21		スムーズな導入と機器活用のポイントについて			
	29		機器等導入後他の事業所での取り組み内容をしりたいです。			○
	209		情報共有についてどのような方法で行えばきちんと全体に伝わるか知りたいです。			
	18		インカムを導入することで、早期の情報共有による職員の連携強化を目指していますが、その他機器を使用することで改善できる取り組みがあれば教えて欲しい。			
	25		インカム等の機材導入を検討中で、運用の進め方。			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
35	32	5.機器等の導入と併せて実施する取組	センサー機器と連携させる目的で先行してインカムを導入しました。夜間の職員間の連携用に活用してもらいながら慣れてもらおうと考えていましたが、使用率が良くありません。センサー機器との連携がないため、あまり必要性を感じてもらえていない点と機器の操作に対する不安感が忌避されている要因とみて、使用機会の再検討や手順書の見直しを行っているところです。このような問題は機器の導入につきものだと思いますが、対応事例などあればご教示いただきたく存じます。		・インカムの利用方法としては職員との情報共有、連携強化、処置待ち時間の短縮等があります。また、他の機器との接続や介護ソフトとの併用、最近では外国人職員との翻訳アプリでの意思疎通を図るなど様々あります。特に、施設系サービスでは、②「生産性向上ガイドライン」(施設系サービス)に成功事例が掲載されており参考としていただくとともに、今後、自施設で導入される場合やリカレント教育する場合など、個々のケースが異なることから、後日、個別相談願います。	○
	173		令和6年度の介護テクノロジー補助金を活用し、インカムと眠りスキャンを導入しました。併せて、業務内容に見直しを行い、3M削減や業務手順書を整備しています。今年度の補助金を活用し、眠りスキャンとインカムの増台、インカム・眠りスキャンの範囲を拡大するためのアクセスポイントの増設を検討しています。今後、更に生産性向上の取り組みを行う際に、どのように進めていけばよいでしょうか。			
36	22		①介護テクノロジー導入により業務改善を図るため、機器導入と併せて業務フローの見直しをどのように進めれば効果的か、また職員が継続して活用できる運用方法について教えていただきたいです。 ②機器導入後に職員の業務負担軽減や時間短縮を実現するための具体的な改善方法を教えていただきたいです。		・関連として「通番10」でもお答えしていますが、①②とも内容が広範囲に及ぶため、具体的には当センターの「伴走支援」の対象事業所となれば、通年でご指導できると思いますが、個別相談(1回)だけでも、専門コンサルの助言によりご対応できると思います。	○
	247		どの程度の見直しを必要とするかが課題			
	249		色々な取組み事例を知りたい		・関連として「通番10」でもお答えしていますが、①②とも内容が広範囲に及ぶため、具体的には当センターの「伴走支援」の対象事業所となれば、通年でご指導できると思いますが、個別相談(1回)だけでも、専門コンサルの助言によりご対応できると思います。	
	312		業務分担がうまくいかず、一部の職員への負担が大きくなっている。IT・ICT導入しているが活用できない職員が負担を感じている事実がある			
36	352		機器を導入したことで、どのくらいの職員の負担軽減を見込まれるのか		・関連として「通番10」でもお答えしていますが、①②とも内容が広範囲に及ぶため、具体的には当センターの「伴走支援」の対象事業所となれば、通年でご指導できると思いますが、個別相談(1回)だけでも、専門コンサルの助言によりご対応できると思います。	
	364		希望の導入機器を購入後、使い方に慣れるまで職員に負担にならないか心配している			
	372		機器導入後にモニタリング等実施していますが、他に取組が必要な事項等あれば			
37	27		IGT機器導入に伴う取組を行う際の具体的なPDCAサイクルと経過観察の期間について		・業務改善の手順としては、前述のように(委員会の立ち上げとリーダーの決定、課題の見える化、実行計画、役割分担、実行、振り返り、繰り返し等のPDCAサイクル)の取り組みがありますが、PDCAは一度だけでなく新たな課題も含めて何回も繰り返し、回す必要があります。各自事業所に応じた個別の相談をいたします。	○
	28		業務改善計画の作成の仕方がわからないこと、機器導入に寄って伴わせてやるべき事はどんなこと			○
	384		「理念・行動指針の徹底」の実施方法を教えていただきたい。			
38	35		機器の導入後の実施必須な取り組みの具体的な内容と記録の仕方			
	24		介護記録システムを本格導入し、紙の記録から無理なく移行を進める方法について。特にIGTに対して苦手な層に対してどのように浸透させていくのが良いか。			
	31		機械浴を導入予定です。職場の環境整備の見直しと業務効率化に向けた手順書の作成を視野に入れております。このような業務改善に係るテンプレートや標準的な手法があればご案内いただきたく存じます。		・導入後の必須取組については前述の「通番10」を参考とするとともに、介護の記録に関しては①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」(NTTData)に対応機種が掲載されているため参照願います。また、施設系・訪問系の③全体版「生産性向上ガイドライン」にもどの階層にも対応可能な事例が掲載されており、計画のスケジュールについても例示されております。	○
	85		職場環境の見直し、業務手順書・マニュアルの作成・更新について		手順書については、②施設系「生産性向上ガイドライン」に成功事例が掲載されているため参考としてください。	
	86		業務手順書の作成、マニュアルの作成・更新について		・県補助金のご案内【別表3】介護テクノロジー導入では、介護ソフトに一体的に使用するタブレット、WiFiカンキョウの整備(タブレット・WiFi単体のみを除く)に必要な経費等も該当。	
	115		機器の導入にあたり、活用場面や業務の流れなど、これまでの業務を見直す必要があると考えています。その際に行作する手順書が職員への確実な周知を図るための方法について効果的な例があれば教えてほしいです。		・介護従事者の身体的負担の軽減や間接業務時間の削減等、業務効率化、介護サービスの質の向上に繋がると県が判断した場合も該当。	
	178		補助金を活用し、施設内のネット環境を整備したうえで介護機器・テクノロジー導入が不可欠と考えているが、今後の進め方が具体的にイメージできずにいる。			
	179		機器等の導入にあたり、パッケージ化で効果がより期待できる製品や職員の体制、取り組み等について教えて頂きたい。			
	191		記録媒体をタブレット機器等に変更することで、記録業務の効率化及び情報共有の迅速化を図り、利用者への直接ケア時間の確保につなげることができるか。			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
38	196	5.機器等の導入と併せて実施する取組	さまざまなテクノロジーは、今やWiFi環境が不可欠となっております。そのため、当施設はWiFi環境を整備しないと、先に進めず。そこに補助金を導入して、環境整備＋機器、ということで進めたいのですが、具体的な計画を頭でなかなかイメージできずにいます。どう進めていくのがよいでしょうか		・導入後の必須取組については前述の「通番10」を参考とするとともに、介護の記録に関しても①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」(NTTData)に対応機種が掲載されているため参照願います。また、施設系・訪問系の③全体版「生産性向上ガイドライン」にもどの階層にも対応可能な事例が掲載されており、計画のスケジュールについても例示されております。 手順書については、②施設系「生産性向上ガイドライン」に成功事例が掲載されているため参考としてください。 ・県補助金のご案内【別表3】介護テクノロジー導入では、介護ソフトに一体的に使用するタブレット、WiFiカンキョウの整備(タブレット・WiFi単体のみを除く)に必要な経費等も該当。 ・介護従事者の身体的負担の軽減や間接業務時間の削減等、業務効率化、介護サービスの質の向上に繋がると県が判断した場合も該当。	
	217		導入効果を職員負担軽減や利用者サービス向上としてどのように示せばよいか。			
	238		重度利用者が多いため職員の身体的負担が増大化している。人手不足もあり、業務一つ一つの効率化・軽減を図るため見直しと改善を行いたい。特に入浴介助での身体的負担と所要時間が大きい。入浴での清潔・血行促進・リラクゼーションのケア行い身体的負担と時間コストの効率化を図りたい。特にリフト浴の割合が8割をしめているため浴槽浴槽入浴での感染対策。また、物価高騰もあり、経費削減等ラングコストを組み合わせで知りたい。			
	242		計画書のスケジュールの具体性はどこまで必要か。何月に何を、と細かく必要か、3ヶ月くらいで何をする、とおおまかでも大丈夫か。計画書作成と、それを機能できるように、職員の意識を高めたいが難しいと感じている。			
	252		現在サ高住・ショートステイ・デイサービス・訪問介護を担う複合型介護施設を運営しているが、今年度共生型サービスへの移行を検討しており、介護ソフトだけでなく、新たに障害福祉ソフトの導入が必要になる。そのソフトとWi-Fi環境の整備費用は対象となるか。			
	282		インカムの導入を検討中だが、合わせて実施する取組、手順、注意点などを教えていただきたいです。また、これによって改善される業務内容の導入前後の比較方法などをお願いします。		・導入後の必須取組については前述の「通番10」を参考とするとともに、介護の記録に関しても①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」(NTTData)に対応機種が掲載されているため参照願います。また、施設系・訪問系の③全体版「生産性向上ガイドライン」にもどの階層にも対応可能な事例が掲載されており、計画のスケジュールについても例示されております。	
	314		介護記録のデジタル化を目指し、タブレット等導入したいと考えているが、連動できる機器等どんな物があるか知りたい(バイタル等)			
	324		現場の業務改善をすすめていきたいのですが具体的にどう取り組んだらいいのでしょうか			
	361		生産性向上の取り組みとして、機器を購入後スムーズに業務を移行できるようにしたい			
	403		勤務体制が煩雑化するため勤怠管理システムの導入を検討しております。			
	404		介護テクノロジーの導入方法や職員へのアプローチ方法等、業務改善に対する取り組み方について確認したい			
	408		機器の導入にあたり、活用場面や業務の流れなど、これまでの業務を見直す必要があると考えています。その際に作成する手順書が職員への確実な周知を図るための方法について効果的な例があれば教えてください。			
	433		なかなか新しいことを心理的に受け付けてもらえない。			
	434		身体的負担が大きい業務(移乗・巡回・見守り)の中で、どこが最も改善を必要としているか?			
	443		安全なケアに対しての取り組み			
39	33		いまは月額利用の簡易なソフトを使っているが、とても使いにくくて業務時間が延びてしまう。診療報酬の請求もできないシステムで困っている。訪問看護ソフトを購入したい。		・訪問看護ソフト導入とともに、後述のケアプラン連携システムとの連携も視野に入れ、相互に活用できるようにお願いいたします。	○
40	65		インカム等コミュニケーション機器の導入と合わせ、日中・夜間の人員配置に対する取り組みについて		・各事業所の個別事案については、個別相談事案として専門コンサルへお繋ぎいたします。	○
41	73		機器の導入と併せて加算取得や導入した機器がうまく事業所で浸透させていくために、他の事業所さんでの取り組みなどを教えていただきたいです。		・施設系サービスでは、②「生産性向上ガイドライン」(施設系サービス)に成功事例が掲載されており参考としていただくとともに、補助金申請の生産性向上推進体制加算については、後日、個別相談願います。	○
42	139		見守りセンサーを全室導入したいと考えているが、業務改善計画において、生産性向上との関連性をどのように記載すべきか、また効果の示し方について県として推奨される書き方があれば教えていただきたい。		・各事業所の個別事案については、個別相談事案として専門コンサルへお繋ぎいたします。	○
	171		見守りカメラを導入することで、業務がどのように改善されるのかと考えること			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
43	80	5. 機器等の導入と併せて実施する取組	現在すぐろくタブレットとAAMSを導入していますが、より業務の効率化を図るために有用な機器などをしりたい。		・選定機種等の詳細については、「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。	
	95		会議録作成機器の導入や法定研修等について参集ではない周知方法についての機器導入			
	102		実施する取り組みについて、どのようなものがあるかロールモデルがあれば、確認させていただければ幸いです。			
	287		在宅介護で有効な機器			
	421		訪問時の入力作業について、職員の年齢層が高いためタブレット操作に不安が残ります。			
44	111		機器の選定やその他必須の取組等についてご教示いただきたい。		・選定機種等の詳細については、「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。	
	114		入浴支援機器の安全な使用方法と効率的な活用について業務改善の再検討が必要			
	127		どのような機器が対象になるのか また業務改善計画の作成方法等			
	140		認知症の方が利用できる介護機器についてどういう物があるか確認したい。		・選定機種等の詳細については、「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。	
	228		介護員の負担軽減のために入浴支援機器の導入を考えているが、入浴業務の改善につながる最も優先すべき、あるいは改善の効果が高い工程はどこか。			
	180		今回特浴を購入しようと考えているが、その時の業務改善内容が知りたい			
	185		機器等の導入にあたり、パッケージ化で効果がより期待できる製品や職員の体制、取り組み等について教えて頂きたい。			
45	121		転倒防止のため、センサーマットを使用しているが、センサーが反応して訪室しても空振りであることが3割くらいである。そこで見守りカメラの導入を検討しているが、導入したら訪室回数を減らすことが出来るのか。転倒を未然に防ぐ確率を上げられるのか。職員の心理的負担を軽減できるのか。		・各事業所の個別事案については、個別相談事案として専門コンサルへお繋ぎいたします。	○
	130		機器を導入することで満足してしまい、有効性を生かしきれていないようにも見受けられる。実際に使用する現場との温度差を埋めるためには、どのようなアプローチをしたらよいか。			○
	147		機器導入と同時に事業所として何から始めたらいいのか教えて頂きたいです。			○
	175		現在、見守りシステム（アンシエル）、介護記録簡易化の為の介護ロボット（ほのぼのケアパレット）導入を検討しています。介護ロボット導入に向けて、円滑に定着させるための方法や職員への伝え方について、不安な点が多くアドバイスいただければと思います。			○
	177		機器等の導入にあたり、パッケージ化で効果がより期待できる製品や職員の体制、取り組み等について教えて頂きたい。			○
	267		介護テクノロジー（見守りセンサー等）を導入するにあたり、現場の職員が負担を感じず、スムーズに業務改善計画に落とし込むための具体的な手順や、職員の巻き込み方について教えていただきたいです。			○
	281		AIやフィジカルAIの登場で、業務の著しい改善の可能性とそうように考えた場合のテクノロジー導入のタイミング			○
	348		見守りセンサーの導入を検討しています。具体例や取り組みの際の注意点などを知りたいと考えています。			
46	38	6. 文書量を半減させる予定の文書の書類	クラウドシステムを活用した記録ソフトの良い選定方法があれば教えてください。		・貴施設の事情について、後日ご相談願います。	○
47	125		介護記録等を手書きをしています、どんな文書が減らせるのか？どのくらいケアする時間が増えるのか？		・ケアする時間の増については、施設業務・導入機器についてそれぞれ異なりますが、該当機器については「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。 ・また、間接的な業務の効率化・負担軽減については、①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」をURLから参照し参考としてください。 ・訪問介護、居宅介護系については⑨「介護サービス事業における生産性向上ガイドライン(令和6年度改訂版サービス別冊子)」を参照してください。	
	174		介護記録、業務日誌等の職員の負担軽減			
	188		具体的にどう言った書類が削減出来るのか			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
47	260	6.文書量を半減させる予定の文書の書類	訪問看護計画書・報告書等の文章を簡素化できる方法を知りたい。		・ケアする時間の増については、施設業務・導入機器についてそれぞれ異なりますが、該当機器については「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。 ・また、間接的な業務の効率化・負担軽減については、①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」をURLから参照し参考としてください。 ・訪問介護、居宅介護系については⑨「介護サービス事業における生産性向上ガイドライン(令和6年度改訂版サービス別冊子)」を参照としてください。	
	273		年配の方でも簡単にできるおすすめのテクノロジーがありましたら教えてほしいです。			
	292		現在専用紙に手書きで訪問の度に記入している、勤務記録と合わせて確認。その後、パソコンにケース記録として毎日入力している。サ責の負担がかなり大きい。			
	307		毎日の訪問記録 ケース記録など		・該当機器については「福祉用具情報システム(TAIS)」にて確認いただきたい。 ・また、間接的な業務の効率化・負担軽減については、①「介護現場で活用されるテクノロジー便覧」をURLから参照し参考としてください。	
	322		生産性向上の研修に参加したが、わからないこともあるので、研修に参加したい。最初のアドレスは使えませんので、こちらをお願いします。			
48	373	7.ケアプランデータ連携システムの利用	そもそもの弊社のテクノロジー導入が補助金対象になっているのか、業務改善計画のつくりかたがあるのか、基本的な部分です。		・居宅介護事業所のケアプランデータ連携システムについては国民健康保険中央会作成の⑤「ケアプランデータ連携システムについて」が参考となります。 ・近隣地域内の利用事業所については、⑥「地域におけるデータ連携促進モデル」手引きを参考としていただくほか、WAM NETで検索し調べることができます。 ・特徴はデータの送受信に特化し、状況共有の時間は1/3に短縮される。記録や請求、管理などの多機能は持たないが、既存ソフトとの連携で業務効率化に大きく貢献できると言われています。 ・業務改善計画書の項目⑥、⑦にはブルダウンはありませんが、記載例の通り文章での記入をお願いいたします。	
	383		文書量・紙ベースを電子に変更していきたいのですが該当しますか			
	395		予算枠が隘路となって計画が中断したため、計画の実行に至らなかったが、タブレット上で記録した書類等は、公表や実地指導でも問題ないのか？			
	440		記録書類や転記作業が多く、電子カルテを導入し、記録作業と情報共有の効率化を図りたい。			
	39		小規模多機能型居宅介護におけるケアプランデーターの活用法			○
	43		本人や家族の意向の尊重と信頼関係の構築に努めながら、より一層利用者の立場に立ったケアの提供に努める。			
	62		様々な情報があまりに多く理解が難しい			
	92		ケアプランデータ連携システムの利用の仕方について			
	112		ジョイントスライドケアプランデーター連携システムを導入したが、周りで導入している居宅介護支援事業所が少ないため、ほぼ実用出来ていない。そのため、まだ業務改善計画にケアプランデーター連携を盛り込んでいないが、今後どのようなことを盛り込むべきか知りたい。			
	117		ケアプランデーター連携システムを導入していない居宅介護支援事業所有る場合、データー処理と今までの処理の方法とで、二度手間になってしまうのではないのか？			
	145		メリットとデメリットを教えてください。			
	146		各事業所、居宅が相互に導入していなければ実際の活用は出来ないと思うが、これがあればケアプランの提出を催促したり、紙媒体でのやり取りがなくなるので、もっとスムーズに計画書の作成ができる。国や県の方で全事業所一斉導入は出来ないのか。 また、家族や本人にも電子で送信出来れば、遠方に住む家族にも内容の確認を取ってもらいやすくなり、忙しなくなかなかお会いできない家族への説明、同意も得やすくなると思うが、それは可能か。			
	258		5.機器等の導入と併せて実施する取組 ケアプランデーター連携がまだまだ導入件数が少なく、事業との連携が図りにくいめどうしたらいいか困っている。			
	169		小規模多機能型居宅介護と看護小規模多機能型居宅介護を運営していますが、事業所には専属のケアマネジャーが配備されているためサービスの予定・実績管理が事業所内で完結します。同システムは利用開始済みではあるが、まだ連携先がない場合でも大丈夫でしょうか。			
	170		ケアプランデーター連携は皆さんが進めていかないと進まないような気がします。（マイナンバーカードの普及のイメージがあります）こちらを促進していく対策などはあるのでしょうか？			
	194		⑥、⑦ブルダウンに選択肢が出てきませんでしたが未記入でもよろしいのでしょうか			
	203		どのように活用していけば良いか自体がよくわかっていない			
	219		当法人本部にて代表し申請をしてもらっています。タブレット等の購入について伺おうと思います。			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事業として回答すべき案件
48	223	7.ケアプランデータ連携システムの利用	外部の他法人との連携をしスムーズに活用していく方法を知りたい。		・居宅介護事業所のケアプランデータ連携システムについては国民健康保険中央会作成の⑤「ケアプランデータ連携システムについて」が参考となります。 ・近隣地域内の利用事業所については、⑥「地域におけるデータ連携促進モデル」手引きを参考としていただくほか、WAM NETで検索し調べることができます。 ・特徴はデータの送受信に特化し、状況共有の時間は1/3に短縮される。記録や請求、管理などの多機能は持たないが、既存ソフトとの連携で業務効率化に大きく貢献できると言われています。 ・業務改善計画書の項目⑥、⑦にはブルダウンはありませんが、記載例の通り文章での記入をお願いいたします。	
	229		連携システムについて、メリットがあまり感じられないが、今後の取扱いについて教えてほしい。			
	241		現在導入したばかりであるため、詳細な活用方法など不明点があり熟知したい。			
	253		介護ソフト導入を考えてますが、簡単に使いやすいソフトを教えてください			
	265 266. 268.		ケアプランデータ連携システム導入も対象か。			
	280		・他事業所との連携で、ケアマネジャーとスムーズに進めるためにした方がいいポイントがありますか。・他事業所が導入していない場合の対応はどのようにすればよろしいでしょうか。			
	296		看護小規模多機能型居宅介護は事業所が独自にケアプランを作成するため、居宅介護支援事業所はサービス提供票などをやり取りする機会は基本的に無いのですが、どうしたらいいでしょうか。			
	298		小規模多機能型居宅介護を運営しているが、事業所独自でケアプランを作成しているため、居宅介護支援事業所とサービス提供票等のやり取りが無く、日常的に利用することがほとんどありません。しかし利用機会が生じないと要件が満たないので、悩んでいる。			
	310		ケアプランデータ連携システムの登録はしていますが、まだ利用まで至っていません。実績は何件分必要でしょうか。			
	323		ケアプランデータシステムを導入するが、やり方が分からず、不安です。			
	332		今後当施設にとっても有用であるため活用したいが、まだどのように進めていけばよいか分からないため相談をしていきたい。			
	333					
	334		他事業所との連携がうまくとれない			
	356		連携システムの使い方、仕組みを詳しく知りたい			
	362		居宅支援事業所にてケアプランデータ連携システムについて、登録済みであるがほぼ実用出来ていない。今後、業務改善計画にケアプランデータ連携をどのように盛り込むべきか知りたい。			
	379					
	389		小規模多機能型居宅介護事業の有効なケアプランデータ連携の取り組み方			
	402		ケアプランデータ連携システムの導入の準備の流れや、データの送受信のタイミング、担当をどのようにしたらスムーズにできるか知りたい。			
	406		操作方法・設定が複雑である CSVデータの名前、違いが分かりづらい			
	428		機器導入に伴い特定のケアマネに負担がかからないかと思っております。			
	430		特定の人に負担が掛かるのではないかと心配しています。			
	435		ケアプランデータ連携システムの利用メリット、デメリット			
	436		ケアプランデータ連携システムの登録済であるか、実際の利用方法を詳しく教えてほしい			
	442		これから、ケアプランデータ連携システムを活用いたします。最初は提供票をサービス事業所へ送付し、実績を受け取るところから始める予定です。いずれは計画書もデータ内で送信という事になるのかなと思っていますが、間違いはないのでしょうか？また、現時点では事業所内6つパソコンがある中で1つしかできない状況にあるのかなと思います。計画書をサービス事業所へデータ送信となれば、それぞれのパソコンで行えたら良いと思っています。そうやって行く事もできるのでしょうか？まだ、これからの為、曖昧な質問ですみません。			
50	44		県内の利用実績はどのくらいなのか。		WAM NETでの県内の利用実績729件で、東北地域では最低です。今後は他のシステム・ソフトとの連携により利用価値は上がっていくと思われます。	
	91		ケアプランデータ連携システムへの登録等は終了しているが、県内事業所での普及についてはどの程度進んでいるのか。			
	210		データ連携システムを利用している事業所は県内でどのくらいおりますでしょうか？現在の使用しているシステムにオプションをつける必要性があるようですが、その点についても伺いたいです。			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
50	304	7.ケアプランデータ連携システムの利用	ケアプランデータ連携システムの利用について、実績の件数の要件はあるのか。（昨年より登録は行っていますが、使い方がいまいちわからなく未だ利用まで至っていないです）		WAM NETでの県内の利用実績729件で、東北地域では最低です。今後は他のシステム・ソフトとの連携により利用価値は上がっていくと思われます。	
	394		近隣施設のケアプランデータ連携システムの利用状況			
	425		ケアプランデータ連携システム導入検討しています。不具合等の話も聞かれますので、業務負担軽減につながるのか？現在利用している事業所の意見を伺いたい。			
51	45	8.利用者の安全・介護サービスの質の確保・職員の負担軽減のための委員会の設置	委員会を組織した後で、委員会を実施した際の進め方、どのような内容について話し合いをすれば良いのか。		・問10の「生産性向上推進体制加算」を含めた内容では、3カ月に1回の委員会の開催となっている。なお、7年度「伴走支援」（月に数回開催）の実績では、委員会の中にプロジェクトチームを設置するか、委員会自体をプロジェクトチームとする方法があるが、構成は管理者等の「プロジェクトオーナー」、最もキーマンとなる中間管理職・リーダーの「プロジェクトリーダー」、介護従事者、ICT機器に慣れている等の「プロジェクトメンバー」とし、総勢で6～10名程度としている。 あまり少ないと1人当たりの負担が増し、多いと集まりづらい、意見が少ない等の弊害がある。 また、メンバーには業務に関しての課題感、現場に精通している、客観的に見れる方が望ましい。また、研修会については、課題の見える化、対象方法・実行計画、改善活動の順に行う際の「改善活動」時に開催することとなります。 ・④「介護ロボット等のパッケージ導入モデル（改訂版）」には、生産性向上推進体制加算の概要にあるとおり、加算Ⅱの10単位では①見守り機器、②インカム等、③介護記録ソフト等で1つ以上、加算Ⅰ取得n100単位では①～③の全てが必要とされておりますので、導入されない場合は該当とならないことになります。 ・また、⑦「利用者の安全～職員の負担軽減～検討するための委員会のポイント・事例集」も参考として下さい。	○
	46		委員会をどのような内容で活動し、研修会をどのように進めていくといいか。			
	47		委員会メンバーの選定はどのような方法で行えばよいか			
	77		職員が高齢化してきており、利用者の安全を第一に考え、介護サービスの質を確保するにはどうしたらいいでしょうか			
	98		具体的な取り組み内容や基準等			
	100		生産性向上推進体制加算について、この度委員会を5月に設置した。介護記録ソフトは10年ほど前に導入している。実績報告システム提出にあたり、利用者満足度等の項目についての調査が当時の職員の移動、入居者の入れ替わりがありなかなかスムーズにいかない事が課題となっているのですが、どうしたらよいでしょうか。			○
	124		本委員会は、どの程度の頻度（月に何回など）で開催するのが望ましいのでしょうか？			
	131		介護サービスの質の確保・職員の負担軽減をどのように進めれば良いか？			
	135		委員会設置後の活動実施は月1回以上必要か？都度行うカンファレンス記録内容と同様でもよろしいか？			
	172		生産性向上委員会の運用にあたり、もし課題の解決方法に介護ロボットやICTの導入に至らない方針が選択された場合、加算の算定への影響について教えていただきたいです。			
	213		生産性向上推進体制加算を算定するにあたり、3か月ごとの委員会での検討内容について、実地指導で確認される際の各項目についての記録の仕方			
	220		委員会の開催頻度、出席者、検討項目、他事業所と合同で開催できるのか等を確認したい			
	221		委員会の開催頻度、メンバー、検討事項、他事業所と合同で開催できるか等を確認したい			
	225		介護テクノロジーを導入することで職員の業務負担(心理的、身体的)であったりを軽減できたらと考えている。			
	233		現在、法人単位（介護部門全体）での委員会を開催しているが、別途事業所でも開催が必要かどうか。			
	239		導入する介護テクノロジーの運用に向けて、新設する委員会をどのように機能させれば良いか？			
	277		職員負担軽減に資する方策を検討するための委員会の内容・ポイント等について事例を紹介して欲しい			
	294		どうすればうまく活用できるか			
	299		生産性向上等の委員会を設置しているが、該当するか。			
	303		職員の負担軽減のための働き方改革として、モバイル環境を整備したいと考えているが、補助金対象として認められるのか。			
51	305		職員の負担軽減について、デジタル要素を強めても働いている職員が高齢になってきており全体研修会の必要性があるが夜間業務のみをする人もいてなかなか伝わりにくいところがある。			
	306		介護職員の高齢化になり、デジタル化しても負担軽減につながりにくい。			
	326		絶対に必要とされる項目、会議の頻度			
	329		項目が細かすぎて実効性が見えない部分がある			
	330		委員会の効率的な運用			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事案として回答すべき案件
51	345	8.利用者の安全・介護サービスの質の確保・職員の負担軽減のための委員会の設置	委員会の設置に当たり、メンバー構成はどのようにしたらよいのか。多職種で問題ないのかそれとも介護職員のみで構成したほうがいいのか。また、委員会の開催頻度について再度確認したい。		・問10の「生産性向上推進体制加算」を含めた内容では、3カ月に1回の委員会の開催となっている。なお、7年度「伴走支援」(月に数回開催)の実績では、委員会の中にプロジェクトチームを設置するか、委員会自体をプロジェクトチームとする方法があるが、構成は管理者等の「プロジェクトオーナー」、最もキーマンとなる中間管理職・リーダーの「プロジェクトリーダー」、介護従事者、ICT機器に慣れている等の「プロジェクトメンバー」とし、総勢で6～10名程度としている。 あまり少ないと1人当たりの負担が増し、多いと集まりづらい、意見が少ない等の弊害がある。 また、メンバーには業務に関する課題感、現場に精通している、客観的に見れる方が望ましい。また、研修会については、課題の見える化、対象方法・実行計画、改善活動の順に行う際の「改善活動」時に開催することとなります。 ・④「介護ロボット等のパッケージ導入モデル(改訂版)」には、生産性向上推進体制加算の概要にあるとおり、加算Ⅱの10単位では①見守り機器、②インカム等、③介護記録ソフト等で1つ以上、加算Ⅰ取得n100単位では①～③の全てが必要とされておりますので、導入されない場合は該当とならないことになります。 ・また、⑦「利用者の安全～職員の負担軽減～検討するための委員会のポイント・事例集」も参考として下さい。	
	399		センサーマットなどを取り入れ、利用者の安全かつ職員の業務量改善を図りたい			
	407		設置後、運用するに当たり、負担感がある。			
	411		生産性向上の取組			
	424		委員会でのどのように活動をしていったら良いか、また定期的に集合会議のようなものが必要でしょうか？			
	444		見守り機器について			
	445		見守り機器について			
	447		委員会の進め方や取り組みの具体例について知りたい。			
52	48	9.LIFEの利用	LIFEの利用を進めていくにあたっての利用方法		・データ提出だけでなく、分析結果のフィードバックを通じて、ケアプランの改善や効果確認に活用できます。また、報酬加算にも関連します。	○
	195		どう導入したらいいか			
	300		仕事量が増えるという懸念がありなかなか実施に踏み込めない			
56	50	10.セキュリティ対策	セキュリティアクション宣言の仕方がよくわかりません。		・インターネット(「交付要綱」第4条(2)のURLからお入りください)でSECURITY ACTIONを検索し、「★一つ星」、又は「★二つ星」の申請時までに取得してください。(関連:「5分でできる情報セキュリティ自社判断」) ・⑧SECURITY ACTIONについては、毎年登録する必要はなく、前年度以前に登録していれば、その登録履歴が確認出来れば可となるので、ご確認しておいていただきます。	
	51		業務改善計画作成にあたり、急激な進化を遂げているAIによるサイバー攻撃等への対策について、どのように記すべきか伺いたい。			
	52		要件であるIPAが実施する宣言について			
	82		セキュリティアクション宣言はいつまでに実施できていることが条件となるか			
	128		セキュリティソフトを選ぶうえでのポイントは何か？			
	132		セキュリティ対策ができていないか不安です。			
	236		基礎的ITリテラシーのルールを作りたい			
	263		セキュリティアクションを初めて申込みで★にした方が審査は通りやすいか。			
	275		介護テクノロジーを活用したセキュリティ対策について、いい事例を教えてください。			
	286		サイバーセキュリティが問題視されていますが、福祉業界での具体的対策方法は？			
	311		タブレット購入を検討しているが、職員の中からはセキュリティについて不安があると多々聴こえてくる。不安を払拭するための方法などがあればお示し願いたい。			
	168		11.その他 セキュリティアクション宣言をしている事業所が対象となるとの事ですが、詳しく教えていただきたいです。			
58	138	11.その他	業務改善に取り組んでいるが、現在実行しているものが最善なのか。また、今後、現在以上に業務改善に取り組んでいくために、どのように取り組んでいけばよろしいのかが課題である。		・貴施設の事情について、後日ご相談願います。 ・7月10日までアーカイブ視聴可です。 ・特殊浴槽はTAISで認定されたものの確認をお願いいたします。 ・見積もりは計画時も原則2社以上で、最も安価なものが対象となります。	○
	141		テクノロジーの導入による介護業務(記録業務)の負担の軽減の図り方			○
	279		職員への意識付けが難しいと感じている。そのため、導入したテクノロジーの活用がうまくいかない。			○
	285		業務改善への職員の意識づけが難しい。			○
	359		6/24日にオンラインで参加しましたが、もう一度視聴したく参加させてください。			
	360		特殊浴槽を導入したいと考えておりますが該当になりますでしょうか			
	382		計画提出時は、見積もりは1社からで良いのか。			

通番	質問番号	1. 事業計画の項目	2. 各項目に関する課題・質問事項	3. 補助金質問との重複分	4. 回答	※個別事業として回答すべき案件
59	163	11.その他	具体性をセミナー出席したのちに検討したい		・「業務改善計画様式」の③研修等の参加状況には、本日の当サポートセンター主催の「第1回生産性向上セミナー」参加により条件をクリアするため、そのまま記入された。 ・なお、当該セミナーは毎年、開催されることから、参加した毎年最新の受講したセミナー名を記入することとなります。 ・今年度、セミナー参加の事業所様は、具体的な導入等についてご検討いただくとともに、当センターでは、生産性向上、業務改善に関して引き続きご相談（個別相談、集団相談、伴走支援等）をお受けいたしますので、ご遠慮なくご連絡下さるようよろしくお願いいたします。	○
	164		セミナー受講後に具体的な内容を検討予定。			○
	181		補助金申請には、この「オンラインセミナー」参加のほかに、「カイゼン」サポートセンターへの相談が必須なのでしょうか？			○
	205		作成する中で出てきた不明点を今後質問させていただきたいです。			○
	207		何をどのように申請していけば良いのかわからない事が多い			○
	243		提供する業者です。申請内容等確認をさせていただきたく、アーカイブ参加させていただきます。よろしくお願いいたします。			○
	289		セミナーを受講して計画を作成する中で不明な点は今後質問させていただきます。よろしくお願いいたします。			○
	313		見守りセンサーの導入について検討中のため具体例を知りたいと考えています。			
	398		業務改善計画を作成する際のわかりやすいポイントやアドバイス、参考例も知りたい。			
	432		業務の見直しの方法や周知の方法等表向きな取り組みから脱する方法がありますか？具体的に。			
	438		会場参加させていただいたため別途回答済み			○